

会議録

1. 会議名 南部町子ども・子育て会議（令和6年度 第1回）	
2. 日 時 令和6年8月26日（月）19時00分から20時30分	
3. 場 所 南部町役場 すこやか トレーニング室	
4. 出席者 <委員>南部町子ども・子育て会議委員（11名）10名出席 <事務局>子育て支援課課長、子育て支援課課長補佐、子育て支援課主幹 教育委員会事務局総務・学校教育課課長、福祉事務所所長	
5. 次第 1 開会 2 自己紹介 3 副会長選出 4 報告事項 （1）第2期南部町子ども・子育て支援事業計画の取り組み状況について（資料1） （2）保護者アンケート結果について（資料2） 5 議事 （1）南部町こども計画策定の方向性（案）について（資料3） （2）南部町こども計画策定に係るスケジュール（案）について（資料4） （3）南部町こども計画策定のためのアンケート調査（案）について（資料5） （4）私立保育所（公私連携型）と認定こども園の比較について（資料6） 6 その他 7 閉会	
6. 報告内容	
事務局（説明）	（1）第2期南部町子ども・子育て支援事業計画の取り組み状況について（資料1） ・資料に基づいて事務局より説明。 ○報告事項（1）については質疑なし （2）保護者アンケート結果について（資料2） ・資料に基づいて事務局より説明。 ○報告事項（2）の質疑
委員	質問ではないが、あいあいでお母さんたちから出た声で、ファミリー・サポート・センターの事業を、昨年からあいあいを利用して利用料も無料になったということをしごく喜んでおられる。しかし、最初に使われてもその後継続して使われないことが見受けられ、お母さんたちから話を聞いたり、アンケートで答えておられる方もあるかもしれないが、援助会員さんとの関係に不安なところがあるとか、もう少し大きい年齢になった時に使える、どこか町内の施設でもあったらいいかなという声もある。

会議録

会長	1歳児になるまでの子どもさんである 0歳児は一時預かりもできないし、お兄ちゃんたちの病院に行った時にちょっと預かってもらえることができればいいな、という声もあった。とりあえずそういう意見があったということだけ伝えたい。また、とてもいい政策だと思うので、続けていただきたいし、検討もしていただけたらと願う。 ありがとうございました。現場の声をこうして届けていただいた。行政の方でも対応を考えていただきたいと思う。
7. 議事	
事務局	(1) 南部町こども計画策定の方向性(案)について(資料3) ・資料に基づいて事務局より説明。
会長	確認だが、議事ということで、承認が必要か。
事務局	この方向性で行きたいと考えているので、ご意見をいただけたらと思う。
委員	今の、こども家庭センターの新たな項目ということで、「支援を要するこども・妊産婦等へのサポートプランの作成・連絡調整」と、この下の新しい「支援を要するこども・妊産婦等へのサポートプランの作成【一部、新】」と書いてあるが、この違いは具体的に何か。
事務局	サポートプランは、今までも策定はしていた。さらにこれが一部新しくなったと書いてあるが、詳しい内容については、ちょっとパワーアップしたプランを作るところだ。
会長	昨今ヤングケアラーが課題になっている。向こう5年間の策定になるので、これを取り上げるのか県とか国とかに確認して欲しい。なかなか実態を掴むことは難しいだろうが、もし相談等があれば対応出来るシステムがあればと思う。
事務局	ヤングケアラーという新しい概念が出てきた。各市町村がいま対応中ということで、南部町でもいま調査をしているところだ。具体的に言うと、家族で介護が必要なお年寄りや親御さんとかがいた場合、子どもさんが介護などをやるが、それをするによって、必要な教育を受けられなかったり、自分の行きたい進路に向かえないといった社会問題が発生したりしているということだ。ヤングケアラー

会議録

事務局	は調査するとともに、町が支援をしていくというような流れになる。うちに留まらず、他の市町村もヤングケアラーについては新しい概念ということで、調査の実施や対応もこれから考えていくというような状況であると聞いている。 補足すると、今、第 2 期の子ども・子育て支援事業計画をつくっている。この中については保育の方は 1 項目のほか 13 項目ということで、法にのっとって計画・確保量・見込み、そういうものを入れた計画を作っている。それにプラスして今回、国の方が作ったことも大綱をもとに、県、市町村も、努力義務だがこの子ども子育て支援事業計画を骨格としながらプラスアルファをして、今回南部町としては子どもの貧困という部分の計画を合わせて肉付けをしているというもので、時期は考えたいと思っている。今日提案をさせていただいた資料 3 については、第 3 期の計画作りの方向性として、このような内容を計画の中に盛り込んでいきたいというところを提案させてもらうということで、この方向性が決まり次第計画にしていく。細かな部分については、また次回ぐらいまでに、ちょっと分厚くなるが、そういうものを作っていきたいということで、ご理解のほうをいただけたらと思う。
会長	皆さんこの方向性についてご承認をいただけるか。承認いただける方は挙手をお願いします。 (全委員挙手)
会長	ありがとうございます。この方向性でお願いしたいと思う。
事務局	(2) 南部町こども計画策定に係るスケジュール(案)について(資料 4) ・資料に基づいて事務局より説明。
会長	皆さんこのスケジュールで進めるということでよろしいか。 (全委員承認)
事務局	(3) 南部町こども計画策定のためのアンケート調査(案)について(資料 5) ・資料に基づいて事務局より説明。
会長	皆さん、このアンケートの内容で進めさせていただくということで

会議録

	よろしいか。 (全委員承認)
事務局	(4) 私立保育所(公私連携型)と認定こども園の比較について(資料6) ・資料に基づいて事務局より説明。
会長	認定こども園にするのか、それとも通常型の保育園とするのかということだが、すみれこども園の利用実態が幼稚園としてはないということだ。この43の数字の内訳が知りたかったが、この形でもうすでにアンケートが終わっていてそれを知るすべはない。 機能としてはすみれこども園の方に、幼稚園の機能があるということだが、今度作られるものについては、保育園でどうだろうかということであった。
事務局	もう1回11月に引っ張ってもいいが、そこまでで何か状況は変わるということがないかなと思うし、皆さんで賛同をいただけたら助かる。
委員	何を賛同するのか。
会長	今度できる統合保育園を、すみれこども園のような認定こども園にするのか、通常の保育園にするのかということだ。
事務局	事前の説明がこれまでの継続という流れの中で走ってしまっただけで申し訳ない。新しい委員さんについては、初めて見られる部分だと思うが、現在建設しようとしている私立保育所について、認定こども園にするのか保育園にするのか、その見解がまだ明確に決まってないというところがあり、皆さんに前回からお諮りをしているところだ。それぞれ認定こども園のメリット、デメリットなどいろいろある。保育園と認定こども園の違いというのをこの比較表に挙げさせてもらっている。この中でどちらかを選択する必要がある。その選択をするのに、どういう判断をするのかというところを、委員の皆様にお聞きしているという状況だ。
会長	前回の委員会で話し合ったのは、とにかくニーズに応えましょうというのが、皆さんの確認事項だったので、アンケートというのを取って貰った。結果がさっき言いましたように認定こども園43と書いてあるが、これは単純にすみれこども園を利用したいということ

会議録

	かなという判断にも取れる。実際、すみれの方にも幼稚園としての利用がない、というのが実態だということもあり、南部町としてはすみれに認定こども園の機能があるので、新しく統合される保育所については、通常の保育園としてはどうだろうかという先程の提案であった。
委員	そうですか。
会長	もしこの場でまだまだ疑問が残るということならば、それは今事務局が言うように次回の会の時に再度諮るということもできるのかなと思う。この際、ご意見があれば、申し述べていただければありがたい。
委員	すみません、私は初めて出るので、もう皆さん全部分かっておられて、私だけが分からないということが多分いっぱいあるのかもしれないが。そう考えると、今のお話のすみれこども園は幼稚園としての機能があるけど、そのニーズがないということか。
事務局	そうだ。幼稚園機能というのはある。
委員	こども園であることから幼稚園という側面もあると思うが、実質としてその幼稚園として要望ニーズがないということか。
事務局	この1号認定というところがないということだ。
委員	こども園ではあるけども、保育園としての機能を求めているということか。
事務局	はい、今現在、実態は保育を必要とするという方ばかりが入っておられるということで、お勤めではない家庭でちゃんと保育ができるんですけど、という方は米子の幼稚園に入れられる。すみれこども園を使ってもらってもいいが、バスがないという理由もあるかもしれない、お昼ご飯を食べたら帰るとかという、他の子どもたちと違うような動きをしないといけないとかそういうものもあるかもしれない。いろんな理由で米子の園を選ばれているということだと思う。受け皿はあるが、これまで開所してから、受け入れたことはないという実態。

会議録

委員	ありがとうございます。
事務局	今日に結論ということも申し上げたが、新しい委員さんもおられるし、また検討していただいてもいいのかなと思う。
会長	11 人中半分近くが、新たに委員になられているので、ここは持ち帰っていただいて、次回の会議で皆さんにお諮りしたいと思う。では 5 の議事についてはこれにて終わりたいと思う。
7. その他	
会長	6 のその他についてなんか事務局の方であるか。
事務局	・すくすく子育ていきいき親育ち～成長と学びのガイドブック～のご紹介 ・次回の子ども・子育て会議の日程調整の連絡
8.	閉会（20：30）